



埼玉県杉戸町議会
令和3年2月1日発行



障がい者週間（カルスタすぎと）

こんにちは 杉戸議会です



杉戸町議会ホームページ

2020(令和2年)
12月議会

第6次総合振興計画及び前期基本計画……………	P 2
指定管理者「シダックス」に指定……………	P 4
補正予算・意見書……………	P 5
町政を問う（一般質問に13人登壇）……………	P 6
議会を傍聴して・編集後記……………	P20

まちづくりの姿

○賛成11・反対3 で 可決



基本構想は、長期的な展望に立った総合的かつ計画的なまちづくりを進めるため、町民と行政の共通の目的とする本町の将来あるべき姿とまちづくりの方向を明らかにするとともに、その実現に向けた基本的な施策を定めるものです。

基本計画は、基本構想で定める将来像を具体化するために、行政の各部門が取り組むべき施策を体系的に定めたもので、各施策を計画的に進めていくための具体的な指針となるものです。

実施計画は、基本計画で定めた施策に基づき、財政的な裏付けを行い、実施ベースの計画を明らかにするものです。

総合振興計画とは、町の上位計画で、将来のまちづくりの基本理念や将来像、その将来像を実現するための政策の方向性、政策を実現するための施策を示すものです。基本構想（10年間の長期構想）、基本計画（前期・後期各5年間の計画）、実施計画（3年間の事業計画（毎年度見直し））で構成されています。

令和2年第5回12月定例会は、11月26日から12月8日までの13日間開催されました。町長から提出された令和2年度一般会計補正予算をはじめ、条例改正や指定管理、第6次杉戸町総合振興計画及び前期基本計画など12議案を審議し、すべて可決、承認しました。また、議員提出議案として1件審議し、可決しました。

主な質疑

問 古谷町長の計画で基本理念やまちの将来像への見解は。

答 これまで、「みんな」で良い町をつくらうという合言葉で進めてきました。「みんな」という理念で未来について考え、行動することで杉戸町をより良い町にしていくことができると思います。基本理念を「みんなで考え、行動すること、よい『杉戸』をつくる」としました。まちの将来像は、元気で魅力のあるまち、愛着を持てるまちにしていくことを目指したものです。

問 8つのまちの未来像の中で杉戸らしさとは。

答 東武動物公園駅東口通り線や旧杉小跡地の整備は重点的に進めていきたい取り組みです。

問 年齢別転入者数、転出者数のグラフより20代の転出超過が際立っているが、主要因と今後の対策は。

答 主に進学や就職に伴う転出が要因と考えられ、今後の対策として、特に東武動物公園駅東口通り線や旧杉小跡地の整備により、多くの人が集まり、経済活動を促進していくとともに、企業支援などにより、町内の働く場所の創出などを通して転出抑制に努めていきます。

第6次総合振興計画

(令和3年度～12年度)

将来の

問

持続可能でよりよい社会の実現を目指すために、2030年を達成年とし世界共通の目標SDGsがありますが、どのように検討し、計画したのか。

答

杉戸町の現況等と社会動向の中でSDGsの実現に向けた取り組みが必要であるとうたっており、全体的な取り組みとして推進していきます。

問

SDGsの具体的な取り組みは。

答

全ての部署に関わる実施計画や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において取り組んでいきます。

問

計画の「みんな」というキーワードからSNSの活用方法は。

答

町公式として5件開設しており、今後はフォロワー数を増やしていく必要があります。

問

新たな情報発信として、防災防犯情報のLINEによる発信を検討しています。

問

未来像ごとに町民、地域、団体、事業者のアクション（行動）とあるが、その理由は。

答

まちづくりには多くの方々への協力が欠かせないと考え、施策の実施には期待される協力の内容について記述しました。決して行動を強制するものではなく、できる範囲でご協力をいただくものです。

問

土地利用構想図で、東埼玉道路の延長や4号バイパス周辺の活用は。

答

東埼玉道路は杉戸方面への延長を望み、4号バイパス周辺は農用地区域で土地利用の制限が厳しく、検討は難しいと考えています。

問

公民館という表記がないが理由は。

答

文言の整理等を行う中でのことです。当然、公民館は社会教育法上の施設であり、生涯学習拠点の一つです。

問

民間の認可保育所や小規模事業などへの支援により、保育の利用定員拡大を図る策とは。

答

待機児童解消を図るべく、現在、旧杉小跡地および西飯グラウンドの活用におけるサウンディング型市場調査を行っています。第2期子ども・子育て事業計画では令和4年度に小規模保育事業所、令和5年度に認可保育所整備を見込み、財政的に極めて有利である民間認可保育所の誘致について、調査検討を行っています。

反対

日本共産党

森山 哲夫

いちばんの問題点は、「まちづくりの基本理念」の中心に「自助」や「共助」が据えられているという点です。町民に対しては「自助」や「共助」が大切だと、自己責任を強調する一方、行政が本来負うべき役割や責任が、限りなくややむやにされているという点です。

第6次計画には、「もうからないものは地域に」「もうかるものは民間に」「行政は、そうした「仕組みづくり」に専念する」といった考え方が貫かれています。これでは、「住民福祉の機関」としての自治体の役割や責任は後退し、変質してしまいかねません。「受益者負担の適正化」などと称して、国民健康保険税や介護保険料、上下水道料金の引き上げが画策されていることも問題です。

賛成

創造

大橋 芳久

本来、総合振興計画は町民が夢を見られるものでなければなりません。今回の計画は人口減・少子高齢化が進み財政状況が厳しくなるといって、現実に即した計画となってしまうしました。

私には実現が難しいと考えますが、その中でも高い目標を掲げたことは明るい材料です。各政策を達成することで、おのずと「自然と優しさがあふれるまち」が実現することと期待しています。さらに、自治基本条例とは違って、総合振興計画という仏には多くの人の魂が入ったものと確信しています。

新型コロナウイルスは町民の健康、生命を脅かすだけでなく、この計画が狂わされてしまうことになりかねませんので、早期のコロナの終息を願い、賛成討論とします。

活かせ 民間活力 放課後児童クラブの指定管理者 決定

○賛成11・反対3 で可決

指定管理者に

シダックス大新東ヒューマンサービス(株)

杉戸町放課後児童クラブは、指定管理候補者選定委員会において、公募に応じた申請者（5団体）から提出された申請書（事業計画書等）及びプロポーザル（プレゼンテーション）などを実施し審査の結果、「シダックス大新東ヒューマンサービス(株)」に決定しました。指定期間は、令和3年4月1日から5年間です。

「指定管理にしても今までの課題は改善、解決できる見通しはない、直営でやるべき」という反対討論がありました。

指定管理者決定

までの流れ

設置条例の

制定・改正

選定委員会の設置

指定管理者の募集

企業や団体などの

民間事業者が応募

指定管理者の選定

議会で審議

指定・予算の議決

指定管理者との

協定締結

指定管理者による 管理運営の開始

主な質疑

問 シダックスを選定した理由は。

答 選定ポイントとして、支援員の給与や有給休暇など処遇面において改善が図られていること。

また、保育面では、保育時間の延長や学校休業日のお昼の弁当の配食、家庭との連絡体制にアプリやオンラインによるリモート導入。さらには、SDGsに考慮した事業活動や支援員の資質および保育向上等に対する各種研修の充実などです。

問 雇用総数60名の職種別および人件費の内訳は。

答 統括責任者1名で、48万5千円。放課後児童統括員9名で、31万6千8百50円。放課後児童支援員18名で、4万6千3百11円。補助員32名で、3万7千1百49円となり、人件費合計で、1億1千9百35万円です。

問 学校との連携はどのように行うのか。

答 施設を運営していく上で学校との連携は不可欠であり、率直な意見交換や情報共有を行っていきます。

問 配慮を必要とする児童の人数および対応する支援員の確保は。

答 5月1日現在、全体で8名です。指定管理者者と調整し、必要に応じた支援員の確保に努めて行きたいと考えています。

指定管理者制度とは

公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる（行政処分であり委託ではない）制度です。

表彰

埼玉県知事

自治功労者表彰

濱田 章一 議長



一般会計補正予算（第9号）は2億7千492万円の補正と10件の債務負担行為による補正となりました。

主な質疑

町立保育園給食調理等業務委託 （令和3年4月より）

問 民間委託に踏み切った理由は。

5点あります。

答 ①民間企業の給食産業の発達と規制緩和。
②派遣労働に頼らざるを得ない人材確保の問題解決。

③アレルギー対応やイベント食、地産地消の取り組みによる給食内容の充実。

④完全給食の実施により、ご飯を持参している保護者の負担を軽減。

⑤食に関する現場保育士の負担軽減による保育の質の向上。

問 現在給食業務に携わっている職員の雇用は。



答 業務委託した場合にも引き続き雇用をするよう、仕様書に明記の上、調整していきます。

問 主食費に関して保護者の負担が増えるが総額は。

答 ご飯の持参を廃止して全てを園内調理にするため、3歳から5歳児に対して1か月当たり500円の負担となります。園児や職員の方で年間250万円の増となります。

賛成11・反対3で可決

洪水ハザードマップ

問 入札によりハザードマップの作製費が安くなった分増刷するが、印刷枚数と今後の予定は。

答 当初2万8千部でしたが、3千部追加し3万1千部印刷します。県の情報を参考に素案を作成し、令和3年1月から2月に自主防災組織等に提案し意見をいただく予定です。

一般会計補正予算（第8号）専決

インフルエンザ予防接種補助

全員賛成で承認

65歳以上の高齢者にインフルエンザ予防接種を無料にて実施。

主な質疑

問 12月で県の補助は打ち切られるがその後は。

答 1月末までが接種対象期間ですので、1月分は町の財源で充当します。

防災・減災、国土強靭化対策の 継続・拡充を求める意見書

全員賛成で国に提出

現在、世界は異常な気候変動の影響を受け、各国各地でその甚大な被害を被っている。

我が国でも、豪雨、河川の氾濫、土砂崩落、地震、高潮暴風・波浪、豪雪など、自然災害の頻発化・激甚化にさらされている。このような甚大な自然災害に事前に備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靭化は、一層その重要性を増しており、喫緊の課題となっている。

（中略）

今後起こりうる大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興につながるよう「防災・減災、国土強靭化」はより一層、充分な予算の安定的かつ継続的に確保が必須である。

よって、国におかれては、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと。
- 2 地方自治体が国土強靭化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること。
- 3 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靭化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。また、その配分に当たっては、社会資本整備の遅れている地方に十分配慮すること。

町政を問う

12月定例会の一般質問は、11月30日、12月1日、2日に13人の議員が登壇し、福祉、防災、学校・社会教育、子育て、土木、まちづくりなどについて、町の考えをいただきました。

質問項目は下記のとおりですが、その一部の質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

なお、詳しく質問内容を知りたい場合には、町議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をご利用ください。12月定例会の会議録は、2月下旬に掲載予定です。



杉戸町議会
ホームページ
QRコード



○野口俊彦議員

1. 新型コロナウイルス感染症による当町への影響は

○平川忠良議員

1. 空き家対策は進んでいるのか
2. 杉戸町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の内容は

○原田壽々子議員

1. 当町における要介護者と介護者(ケアラー)の総合的支援の取り組みの進捗は

○伊藤美佐子議員

1. 行政の住民サービスの取り組みは
2. 重層的支援体制整備事業の取り組みは
3. 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)接種対応は

○宮田雄一議員

1. エコ・スポいずみについて
2. 子ども会・子育て連の現状は
3. 町道の安全対策は

○上田聡議員

1. 地域公共交通の新たな展開と拡充は
2. 外国籍児童・生徒に対する教育は
3. 町立小中学校通学区域等審議会の進め方は

○須田恒男議員

1. 組織改編の動向は
2. 小中学校イベントの開催への取り組みは
3. 町道Ⅱ級1号線歩道整備の今後は
4. 新保育園建設に向けて

○坪田光治議員

1. 「脱ハンコ」と行政手続のオンライン化は
2. 男女共同参画の視点からの防災の取り組みは

○森山哲夫議員

1. 新型コロナウイルス感染症対策は
2. 指定管理者制度の導入をめぐる検討や議論のあり方は

○石川敏子議員

1. 高齢者福祉の拡充を
2. 放課後児童クラブの支援の単位を守れ
3. 子どもなどのインフルエンザ予防接種を

○仁部前崇議員

1. 町のコロナ禍における課題とは
2. 町道Ⅱ級18号線の各整備事業の進捗は

○大橋芳久議員

1. 第6次総合振興計画について
2. 町立小・中学校における英語教育は
3. 発達障がい児への対応は

○窪田裕之議員

1. 都市計画道路下野・久喜線の早期実現を
2. 旧杉小跡地の有効活用と東武動物公園駅東口通り線の整備は

新年度予算編成 財源不足をどう補う

国や県の補助制度や財政調整基金などを活用していきます



野口俊彦 議員



未曾有の予算編成

問 新型コロナウイルス感染症は、経済に甚大な損失を与え景気の低迷により、来年度の税収に大きな影響を及ぼすことが懸念されるが、令和3年度当初予算の税収不足をどの程度見込んでいるのか。

答 税務課長 町税全体のうち、個人町民税・法人町民税において税収が減少する見込みで、今年度と比較すると数億円単位での減収を見込んでいるところです。

問 税収の他に歳入の大きな柱として、地方交付税があるが影響は。

答 政策財政課長 未確定

な数値ですが、国の概算要求の資料によれば、前年度比で24%の減が見込まれています。

問 来年度も、新型コロナウイルス感染症対策による歳出の増が予想されるが、当初予算編成に当たり、税収の減による財源不足をどのように考えているのか。

答 政策財政課長 歳入面においては、国や県からの補助金を最大限に活用しつつ、適債性のある事業については、地方債の活用を検討し、歳出面においては、決算分析や費用対効果を十分考慮し、真に必要な費用を的確に見積もるなど、内容の精査に努めていく考えです。最終的に不足となる財源については、財政調整基金を活用する予定です。

空き家バンクの設置は

11月25日、宅建協会と協定を締結しました



荒廃が進む空き家、対策は急務！



平川 忠良 議員

問 現在の空き家は。

答 令和

元年度末で29件。A判定、危険は5件、B判定、やや危険は36件、C判定、危険なしは198件です。

問 課長自身の現地確認は。

答 くらし安全課長 現地

確認しており、A判定5件は直ちに建物全体が倒壊する恐れはありません。

問 空き家の苦情や要望は。

答 くらし安全課長 令和

元年度中92件寄せられ、27件解消されました。空き家相談に対し、職員が現地確認し、所有者に空き家の適切な維持管理は所有者の責

務であることを通知するとともに、現状の写真、相談情報等を同封して維持管理をお願いしています。

問 改善が図れない件数は。

答 くらし安全課長 20件

程度です。

問 空家等対策計画策定は。

答 くらし安全課長 空家対策の関係課長会議を今年度中に開催し、来年度中を目標に空家等対策計画（素案）を作成していきます。

問 空き家バンクの周知を含めスケジュールは。

答 くらし安全課長 町民には町ホームページ、町広報紙に掲載。空き家所有者には適切な維持管理を促す通知の中に空き家バンク設置のチラシを同封して、周知を図っていきます。

総合窓口の新設を

県のケアラー支援計画策定を注視し検討します



相談者が課を渡り歩くことのないよう
窓口の1本化を！！



原田 壽々子 議員

問 要介護3を境に介護離職者増となる。年収400万円の人が8年間介護離職をすると経済ロスは3千200万円

答 インフォーマルケアの問題解決として男女共同参画プランに女性介護離職者を減らす取り組みを入れては。

問 人権・男女共同参画推進課長 第5次プランに生活支援員育成や地域互助の推進を位置づける予定です。

答 ケアラーとは高齢介護だけではなく。埼玉県ケアラー支援条例の実施主体は町だが、子どもが抱える状況（ヤングケアラー）の相談体制は整っているのか。

問 学校教育課長 特化したものはないが、生活ノート等で学校生活の相談体制はあります。

答 教育長 来年度、学校運営協議会を設置し、学校運営は保護者、地域一体型の支援体制が整います。

問 地域包括ケアは高齢者に特化するのではなく、ヤングケアラー等の全ての人に総合的包括的な地域ケアの窓口として位置付けるべきでは。新たな視点での介護者支援への見解を。

答 副町長 県のケアラー支援計画策定を注視し、御提案も検討します。

問 町の月額介護給付費は25億円で、基金も25億円と給付額の1月分だけだが、
答 高齢介護課主幹 そのとおりです。

行政手続きのオンライン化及びICT活用は

財政面を考慮し検討していきます



伊藤美佐子 議員



深谷市に設置されている「書かない窓口」の受付

支援体制を検討します。

子宮頸がん予防ワクチン接種対応は

問 ワクチンの定期接種対象者等へ積極的な勧奨を差し控えている状況にあるが、周知に関する具体的対応等国から充実を図る事になったが町の対応は。

答 健康支援課長 リーフレットを高校1年生には郵送で、小学校6年生から中学校3年生には学校を通して、女子生徒に配布しました。

問 来年度からは、定期接種の期限が切れる高校1年生には特に周知すべきと考えるが。

答 健康支援課長 高校1年生には、接種期限を考慮した時期にリーフレットの郵送等を考えています。

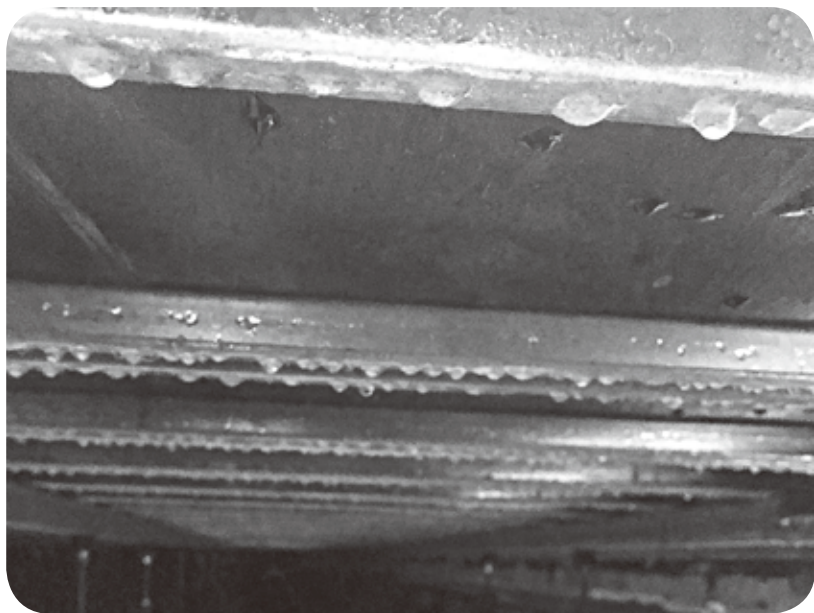
問 申請手続きの「書かない窓口」を取り組む考えは。

答 町民課長 導入には課題が多く難しい状況だが、サービス向上に繋がり、感染症対策にも有効と考え、マイナンバーカードの普及が進んだ際には、窓口の在り方等や将来的な財政面を考慮し、検討します。

重層的支援体制整備の取り組み

問 地域共生社会の中で、「断らない相談支援」をどのように推進するのか。

答 福祉課長 複雑なケースは関係各課が連携し対応しているが、先進事例などを参考に町にふさわしい相談



恒常的に結露している床下

エコ・スポいずみ、多目的スペース床の隆起は

床下換気等、湿気対策を行います



宮田 雄一 議員

問 エコ・スポいずみの再整備から6年が経過し、元プールの多目的スペースの床に多くの歪みが出てしまっている。現状の把握は。

答 社会教育課長 大きな所で6mm、それ以外にいくつか隆起を確認しています。

問 原因は特定されたのか。

答 社会教育課長 原因としては、温浴施設や地下ボイラーの加熱などによるものと、排水ポンプの故障により、床下が高温多湿な状態となり、結露が発生したためと考えられます。

問 早急に床下の湿気対策が必要だが考えは。

答 社会教育課長 休館日等の点検口の開放や排水ポンプの機能回復により、湿気の減少が見込まれます。しかし、改善されない場合は、床下への換気設備の設置や、隆起箇所の修繕も視野に入れ、継続的に点検を実施します。

町道の安全対策は

問 町道Ⅰ級16号線・2036号線・県道42号線の交差点では、ガードレールが大きく損傷する事故が起きたが、経緯と今後の対策は。

答 くらし安全課長 ガードレール破損の事故は当て逃げのため詳細は不明です。安全対策として、県道への接続部分の路面標示の塗り直しや注意喚起のため赤色回転灯のLED化を行い、視認性向上に努めます。

地域公共交通の新たな展開と拡充を

巡回バスアンケートの結果等踏まえ研究



かつての利用者にもアンケートを



上田 聡 議員

問 高齢者や要介護者等の交通弱者に対する移動支援について検討中の対策は。

答 高齢介護課主幹 生活支援体制整備事業として、泉地区の買い物、移動支援モデル事業や西地区の送迎や家事援助等を参考にしながら、地域で助け合える仕組みの構築を進めています。

問 タクシー補助（タクシー助成制度）についてはどう評価しているか。

答 政策財政課長 現状では各担当部署で必要なサービスを検討していく考えですが、各課をまたいで調整が必要な場合は、関係課に

よる調整会議等で導入について検討していきます。

問 タクシー補助単体ではたとえ赤字でも、他の部門の施策に効果や利益が及ぶというクロスセクター・ベネフィットの視点に立ち、巡回バスや路線バス等を補完する位置づけでタクシー助成制度を検討しては。

答 副町長 巡回バスアンケートや他市町の先行状況を踏まえ研究していきます。

問 巡回バスについて、土日便や通勤・通学便の追加フリー乗降制等の諸改革を早急に実行に移す考えは。

答 副町長 人口減少対策として、路線バス以外の路線では有効と考えます。交通事業者との協議やアンケート等の結果を踏まえて、今後の研究課題とします。

新保育園の建設は

旧杉小跡地への建設が最善



整備予定の旧杉小跡地（イメージ図）



須田恒男 議員

問 直近の待機児童数は。

答 子育て支援課長 11月現在、0歳児2名、1歳児10名、2歳児8名、3歳児2名の合計22名です。

問 今後の待機児童対策は。

答 子育て支援課長 来年、正規職員3名の純増が予定されるが、会計年度任用職員の適正配置、私立保育園への依頼、定員の弾力化を進め、幼稚園での預かり保育の施策をもう一步進んだ形で拡充ができないか、取り組んでいきます。

問 予定する建設場所および規模は。

答 子育て支援課長 町内

各地区の児童数の推移や私立を含めた保育園・幼稚園の配置・通園状況、住宅開発など総合的に評価した場合、現段階での想定ですが、旧杉小跡地が最善の選択になります。また、定員規模は100名前後を想定しています。今後、政策会議での決定を行い、議会や保護者、町民への説明が必要と考えています。

問 場所的には、旧杉小跡地の開発イメージ図のどこに建設予定か。

答 子育て支援課長 芝生広場の一角に整備したく、建設促進に向けて事務を進めていきます。敷地面積としては、1千㎡を予定し、大きな面積を占めることから、場合によっては2階建ても想定しています。

「脱はんこ」への取り組みは

できるだけ押印の廃止を進めます



行政手続きの簡素化へ



坪田光治 議員

問 現在、町に提出する押印の必要な申請書等の数は。

答 政策財政課長 10月末時点で1192件です。

問 押印の見直しについて町の考えは。

答 政策財政課長 申請や届出など多くの書類に押印を求めている状況ですが、見直しについて検討を行っています。

問 今後の取り組みは。

答 政策財政課長 書面による意思確認や身分証の提示などによる本人確認で足りる手続については、できるだけ押印の廃止を進める考えですが、国の動向を見

て改めて検討します。

女性の視点からの防災は

問 内閣府男女共同参画局から「災害対応力を強化する女性の視点」男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」が示された。町でもこれを参考に女性の視点からの取り組みが必要だと考えるが見解は。

答 人権・男女共同参画推進課長 避難生活が長期間続く場合などは、プライバシーを確保できる間仕切り等、女性と男性のニーズの違いに配慮した対応がより一層求められます。女性の視点からの取り組みを進め、地域の防災対応力を強化することは、当町においても喫緊の課題であると認識しており、今後も関係課等と連携を図っていきます。

感染拡大「第3波」への対応は

まずは「新しい生活様式」への協力を



医療・保健体制の強化を



森山 哲夫 議員

問 感染拡大「第3波」への対策として、特に重視している点は何か。

答 健康支援課長 杉戸町 としては医療提供体制にできるだけ負荷を与えないよう、町民のみなさんに、マスク着用や手洗いの徹底、3密の回避、社会的距離の確保のほか、感染リスクが高まる「5つの場面」での注意点など、基本的な感染予防の協力をお願いしていきます。

問 感染拡大抑止のためには、マスク着用や手指消毒、3密回避などの対策も大切だが、無症状感染者からの

感染拡大を抑止するための措置を講じることも必要となっている。感染していても発症前、もしくは無症状、軽症の状態で自覚なく感染を広げる人たちをPCR検査で早期に発見し、保護することが必要となっている。

感染が急拡大するなか、医療機関や高齢者施設などで働く職員や入所者等を対象に定期的な検査を独自に実施する自治体も増えてきている。杉戸町としても、国や県とも連携して、こうした検査を積極的に実施していくべきではないか。

答 健康支援課長 県の判断により、感染拡大地域や事案等に該当する場合には、必要なPCR検査が幅広く実施されているものと理解しています。

介護保険料は引き下げよ

介護サービス需要の増加から見込めません



町内に建設中の特養ホーム



石川 敏子 議員

問 来年4月からの第8期介護保険事業計画を策定中だが、保険料はどのようになるのか。

答 高齢介護課主幹 介護保険料は3年ごとに見直しを行っています。基金残高5億円のうち2億5千万円を取り崩した場合、1か月4648円となります。

問 介護保険料は引き下げるべきではないか。

答 高齢介護課主幹 令和4年には前期高齢者と後期高齢者の割合が逆転し、要介護者等が増加し、介護サービス需要が増加するため、引き下げの見込みはあ

りません。

問 基金を2億5千万円残す根拠は。

答 高齢介護課主幹 1か月分の保険給付費額です。

問 387円の値上げとなるが、現在の保険料を維持するには、基金の取り崩しはどのくらいになるのか。

答 高齢介護課主幹 現在の保険料は1か月4261円なので、基金の取り崩しは4億6千万円となります。

問 介護保険が導入されてから21年となるが当初の保険料は、1か月2400円でこれから比べると約2倍となっている。これ以上の負担を高齢者に負わせるのは無理なのではないか。

答 副町長 将来の保険料抑制のため、基金を積み残す必要があります。



「すぎびよん 10 歳」 コロナ禍で活躍できません（泣）

コロナストレスの中で安心できる事業・政策は

できる範囲の中で多面的に検討し取り組みます



仁部前崇 議員

問 これまでの防災事業のコロナ対策の結果は。

答 **くらし安全課長** 非接触型体温計46基、避難所用パーテーション2種類1100張りを各避難所に配備しました。

問 今後の課題は。

答 **くらし安全課長** 各種資機材の的確な保管と管理、利用後の消毒実施が必要です。災害発生による開設時には、感染拡大防止策として収容人数減となるため、自宅での安全確保ができる方には、在宅避難の協力も必要になります。

問 各種資機材の取扱いの

周知は。

答 **くらし安全課長** 避難所の開設運営訓練や防災講座、防災訓練、各自主防災会等で説明周知に努めます。

問 コロナ禍での地震を含む災害の発生時間帯（朝・昼・夜）に対する訓練の検討は。

答 **くらし安全課長** どの時間帯に限らず発生する可能性があるので、被害・時間帯・感染状況など様々な状況を想定しての訓練は必要と認識しています。他自治体の取り組み事例等を参考に検討します。

問 厚生労働省の奨励するコロナ接触アプリの利用は。

答 **くらし安全課長** 接触アプリ「COCO A（ココア）」をインストールし、活用しています。

10年後の計画を立てる理由は

町民と事業を実施するためにも必要です



大橋 芳久 議員

- 未来像 1** まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち
- 未来像 2** 子どもたちに未来を拓く力を育むまち
- 未来像 3** 生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち
- 未来像 4** 自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち
- 未来像 5** 地域がつながり、安全で災害に強いまち
- 未来像 6** 魅力ある産業を育み、発信できるまち
- 未来像 7** 機能的で自然と調和した快適なまち
- 未来像 8** 信頼される行政運営を推進するまち

8つの「未来像」

- 問** 総合振興計画は町民に夢を見てもらうものでなければならぬ。夢が見られる事業を掲げるべきでは。
- 答 政策財政課長** 持続可能で魅力のあるまちづくりを推進していきます。
- 問** 次期計画のキーワードは「みんな」であるという。どのように町民の参加を求めているのか。
- 答 政策財政課長** 杉戸町の魅力や杉戸町らしさを発信していきます。
- 問** 目標の数値設定をしているが、今期の実績から比較しても目標値が高すぎる。高すぎる数値設定の目標が
- 答 副町長** 今一步頑張らなければ届かない目標であり、自らの目標として最適だと考えます。
- 問** この計画は10年後の目標を決める計画だが、社会情勢が激動し、科学技術が日進月歩する現在においてこの計画は本当に必要なか。
- 答 政策財政課長** まちづくりは将来を見据えて行うべきだと考えるので指針として必要なものです。また、毎年度策定する実施計画で見直しを図ります。
- 問** コロナの影響で次期計画が狂う可能性がある。作成を延期すべきではないか。
- 答 副町長** 各課が町民と知恵を出し合い事業を実施していくためにも必要です。

旧杉小跡地と東口通り線の一体的な整備内容とは

回遊できる公共空間を目指します



どのように変わるのか？



窪田裕之 議員

問 旧杉小跡地の有効活用について、令和2年2月に

「旧杉小跡地活用基本方針」が出され、広場を中心とした、多世代が憩い、活用できる公共空間として再編することが示されたが、その後の検討状況は。

答 市街地整備推進室長

令和2年7月に、旧杉戸小学校跡地民間活力アドバイザリー業務委託を(株)URリサーチと締結し、基本方針の実現に向けて現在サウンディング型市場調査を実施しています。年度内には実施方針案を作成し、来年度から本事業の事業者を募

集・選定していく予定です。

問 旧杉小跡地と現在拡幅

事業の進んでいる、東武動物公園駅東口通り線を一体的なエリアとしてまちづくりを行っていくとの事だが、このエリアは杉戸町の新しい顔になるので、一体的とは、デザインの・景観的に統一感を持った、町のコンセプトを表現した整備としていくのか。

答 市街地整備推進室長

旧杉小跡地・古利根川等の地域資源や東口通り線の沿道建物等を一体的な公共空間として利活用し、歩いて楽しく回遊できる空間を創出することにより、多様な人々の交流や滞在、地域消費の好循環が生まれるエリアを目指しています。

議会を傍聴して



さいたま市 在勤
林 敏夫さん

他の自治体議会の傍聴経験から感想を3つ。

- ① 首長支持派は与党であるかの誤解から無用な対抗が目立つ議会があるが、貴議会はその印象が薄く、地方自治の二元代表制への意識の深さなのでしよう。国会制度との違いを活かしてください。
- ② 全議員に議論を深める機会の保障は議会制民主主義の基本です。委員会があっても全議員参加の本会議中心運営はともも新鮮で、自治体規模の適切さを感じました。
- ③ 噛み合わない答弁や事前準備見解の反復が無いように期待します。尊厳を保ちつつ、職員の手直る答弁ができる寛容な議会運営と執行部なら審議がさらに行政に活かされるでしょう。

令和2年 第5回 杉戸町議会定例会 議員別表決結果一覧

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 除…除斥 棄…棄権 ※議長は表決に参加しないため、「-」となっています。

議案名		会 派 名		新 是 新		創 進		共 産 党 本		公 明 党		自 民 党		無 所 属				
		議員氏名		仁 部 前 崇	須 田 恒 男	原 田 壽 々 子	大 橋 芳 久	坪 田 光 治	宮 田 雄 一	森 山 哲 夫	石 川 敏 子	上 田 聡	平 川 忠 良	伊 藤 美 佐 子	窪 田 裕 之	稲 葉 光 男	野 口 俊 彦	濱 田 章 一
町長提出議案	杉戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	町長及び副町長の給与等に関する条例及び杉戸町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
	専決処分の承認を求めることについて (令和２年度杉戸町一般会計補正予算〔第８号〕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	指定管理者の指定について(杉戸町放課後児童クラブ)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町議会議員及び杉戸町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和２年度杉戸町一般会計補正予算（第９号）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和２年度杉戸町水道事業会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和２年度杉戸町下水道事業会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和２年度杉戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和２年度杉戸町介護保険特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第６次杉戸町総合振興計画基本構想及び前期基本計画について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	
議員提出案	防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

12月定例会 傍聴者数

(本会議)

11月	26日	2人
	30日	8人
12月	1日	7人
	2日	17人
	4日	0人
	8日	2人



3月定例会は、
2月17日(水)
開会予定です。

コロナ禍の中、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。第3波が襲来し自粛の毎日を送っているのではないのでしょうか。感染者も増えて、すぐそばまでコロナが来ているような気がします。コロナに始まりコロナで終わる年となりました。これから先も今の生活が戻ってくるとは考えられません。このような中、12月議会が終了しました。安心して生活するために、政治の力が求められています。先の見えないコロナで不安が募りますが、住民の声を行政に届けるのが議員の仕事です。困ったことがあれば近くの議員に相談してください。

編集後記

議会に関するご意見・ご要望はこちらまで ▶ E-mail gikai@town.sugito.lg.jp